

玄海アスコン

近年、福岡県の玄海アスコン周辺地区において、住宅地の整備が進み移住者が増加しました。移住者の大多数は若い世代で未就学児も多く、子供の人数急増が予測され、工場に隣接する地区に小学校が新設されることとなりました（2017年4月開校済）。そこで、当社は合材工場をより都市環境に合わせるために建替えを行いました。

特徴としては温室効果ガス排出低減のための「使用燃料のガス化」、プラントを囲いで覆う「シェルター化」、臭いを軽減する「脱臭炉」の追加や「省エネ機器の導入」などを行い、環境負荷低減・防塵・防音に配慮した最新の環境対策型プラントとして生まれ変わりました。



玄海アスコン全景



小学生が描いてくれたポスターを看板として設置しました



東京青海合材工場・東京臨海リサイクルセンター、城南島リサイクルセンター

東京青海合材工場・東京臨海リサイクルセンター（東京都江東区）および城南島リサイクルセンター（東京都大田区）は、都市型合材工場、中間処理施設として都内を中心にアスファルト合材の出荷・廃材の受入処理などを行う、当社を代表する旗艦施設です。

当工場・リサイクルセンターは、毎年JICAなどを通じて海外からの視察・研修を受け入れています。当社の製造・環境負荷低減技術などを日本国外にも広めることで、世界の道路技術発展に貢献しています。



東京青海合材工場



城南島リサイクルセンター



場内視察の様子